

LIBRARY NEWS

No.21, November 2013

21



- いよいよ工事を開始します！
- 私のお薦め本 第16回
- 図書館からのお知らせ

いよいよ工事を開始します！ ～新棟増築工事と電動書架の更新のお知らせ～

遅れていた新棟増築工事がいよいよ始まりました。工事は今のところ、

- ①南面に足場を組む&窓養生(外側から板で覆う)11月初め頃(振動・騒音)
- ②2階の出窓部分とブラウジングコーナーを取り壊す 11月中旬頃(激しい振動・騒音、座席減少)
- ③新棟地下掘削 年内～年明け(振動・騒音)
- ④南側壁全面工事 2014年3月頃(激しい振動・騒音、座席減少) & 新棟建設

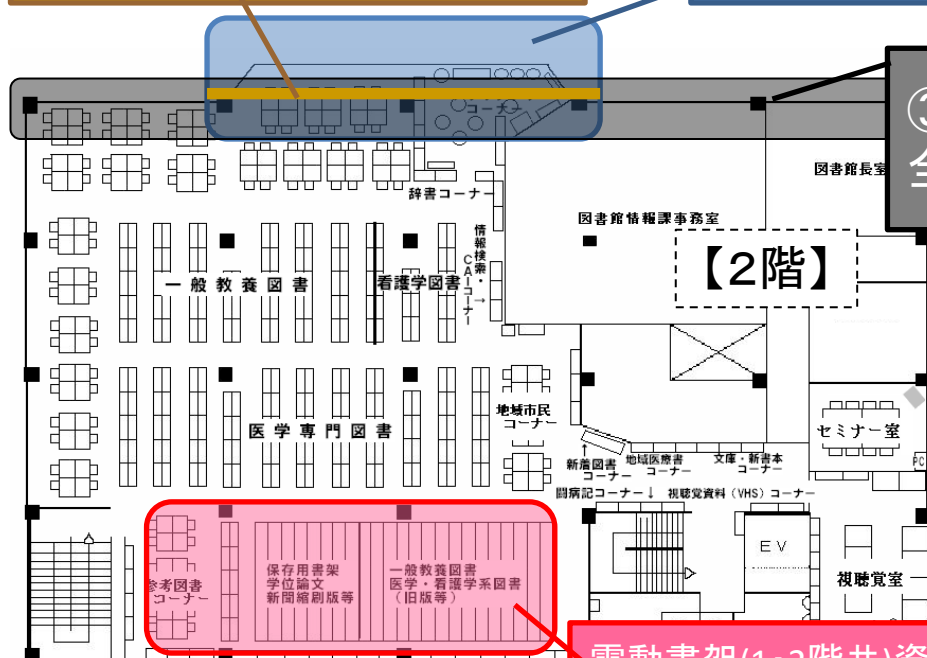
の予定です。

また、ほぼ同時に電動書架更新のため11月6日から資料の搬出・書架を解体しています。こちらも作業音が発生し、一部の座席が使えなくなります。利用者みなさまには大変ご不便・ご迷惑をおかけしますが、今後のよりよい良い環境を作るための工事ですので何卒ご了承ください。

①南面足場組む&窓養生
(1・2階共) 2013年11月～

②2階出窓部分とブラウジング
コーナー取壊し 2013年11月中旬

③南側壁(1・2階共)
全面工事 2014年3月頃



工事時間帯は全期間
(土日祝も含め)
8:30～20:30(予定)です。
ご迷惑をお掛けします

電動書架(1・2階共)資料搬出・書架解体11月6日～

“平衡”を“動的”とは呼ばない

“動的平衡“という言葉をご存じの方は多いと思う。近年出版されて大変評判になった、分子生物学者による一般向けの書籍で有名になった言葉だ。そこで紹介された生命現象の面白さはまさにそのとおりで、一般に広く、しかも分かりやすい言葉で紹介されたことには大きな意義がある。それだけではなく、専門家にも少なからぬ影響があったようで、“動的平衡”を冠した研究会も開催された。ただ、問題が一つ。“動的平衡”という言葉づかいは、現代では誤りなのだ。さらに著者がその書で述べたように、彼の指摘する認識がほとんど全ての科学者によって長いこと認知されてこなかったということも、実は不正確だ。結論を言おう。平衡は“静的”なのであって、“動的”なのは“非平衡”状態だ。“平衡”には厳密な定義がある。当然“平衡”と“非平衡”は明確に区別できる。また、“生き物らしさ”を特徴づける、時間的・空間的に動的な自然現象を解明しようとする学問的努力は、1950年代にその理論的萌芽が始まり、ついには“散逸構造(非平衡非線形領域で自発的に生成される秩序構造)”形成理論として第一の高みに到達した。その功績でイリヤ・プリゴジンがノーベル化学賞を受賞したのは1977年である。その後、“複雑系”などの発展も含みながら、この一連の学問的発展を象徴する言葉が「非線形科学」である。“非線形”とは“(入力と出力が)比例しない”という意味で、生命に特徴的な性質である。医科学研究者にとって最も重要な課題のひとつであるホメオスタシスはもちろん、リズムや形態形成を理解する理論的基盤が「非線形科学」に展開されている。しかし、ここにとっても重大な問題が残されている。それは、生命科学的実験研究が、理論に比べて大幅に遅れているということだ。言い換えれば、今後の発展が大きく期待されている。これは、実験が難しいということもあるが、多くの生命科学者が「非線形科学」の発展をほとんど知らなかったことにも大きく依存している。

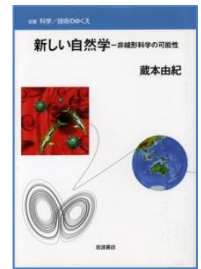
さて、前置きが長すぎた。今回ご紹介する「非線形科学」と「新しい自然学－非線形科学の可能性」はどちらも「非線形科学」の構築に大きく貢献した世界的第一人者、蔵本由紀先生による一般向けの著書である。数式はまったくと言ってよいほど出てこない。生命科学の深遠に迫ろうとしている方はもちろん、専門家でもなくともダイナミックな生き物らしさに興味をお持ちの方は是非一度、ページをお開きになることをお勧めする。実験科学的発展を示しながら、基本的理念と哲学が、そこには平易で穏やかに、でも熱く語られている。

くらもと よしき
蔵本由紀 著

『非線形科学』 図・文庫新書コーナー BS/His

『新しい自然学－非線形科学の可能性』

図・開架書架/一般教育 401/Ata



図書館からのお知らせ

第3回サイエンスカフェ終了

「感覚器の世紀・21世紀の10年」と題し3人の先生方にご講演いただきました。咀嚼と脳、眼循環測定、人工内耳など普段なかなか聞けないお話を伺うことができ、参加した学生さんにも好評でした。

図書館サイエンスカフェ 第3回ジャムセッション

10月24日(木)17時半～於図書館



眼科学 長岡 泰司 准教授
生理学・神経機能分野 柏柳 誠 教授
耳鼻咽喉科・頸頭部外科学 片田 彰博 講師

ブックハンティング収穫本貸出開始

10月16日午後、今年度2回目のブックハンティングを行いました。参加者は男子2名、女子3名でした。硬軟バラエティに富んだ本を選んでくれました。

7月のブックハンティング本と入れ替えて、図書館2階エレベーター横に展示していますので、ぜひお手にとってご覧ください。



開学40周年記念貴重書室特別公開

図書館では、本学の開学40周年を記念して、貴重書室を公開しています。江戸時代の医学書をガラスケースに展示していますので、ぜひご来場ください。

11月1日(金)～29日(金)

